

- 齋宮の歴史と王朝ロマンを訪ねて -

齋宮まるごと満喫コース

齋宮とは、古代から中世にかけて天皇が即位する
 たびに選ばれ、伊勢神宮に仕えた皇女「齋王」が
 住んだ御殿と「齋宮寮」という役所があったところ。
 そのゆかりの地齋宮をゆったりと歩き、
 在りし日の齋宮に想いを馳せてみませんか。

※齋宮跡休憩所を拠点にコースの一部を
 齋宮がボランティアがご案内します（無料）
 問い合わせ先
 歩く：明和町観光協会 0596-52-0055
 学ぶ：齋宮歴史博物館 0596-52-3800
 体験：いつきのみや歴史体験館 0596-52-3890

コース距離 約5km
 コース時間 約1時間40分
 施設見学時間
 齋宮歴史博物館 60分
 いつきのみや歴史体験館 20分



⑦ 齋宮歴史博物館
 齋宮の歴史や発掘調査の
 成果が映像や展示でわかり
 やすく紹介されている。



⑩ 齋王の森
 齋宮が当地にあったこと
 を示すシンボリックな森。黒
 木の鳥居や「齋王宮院」の
 石碑がある。現在は神宮司
 庁の管轄地となっている。

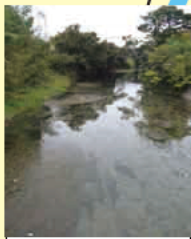
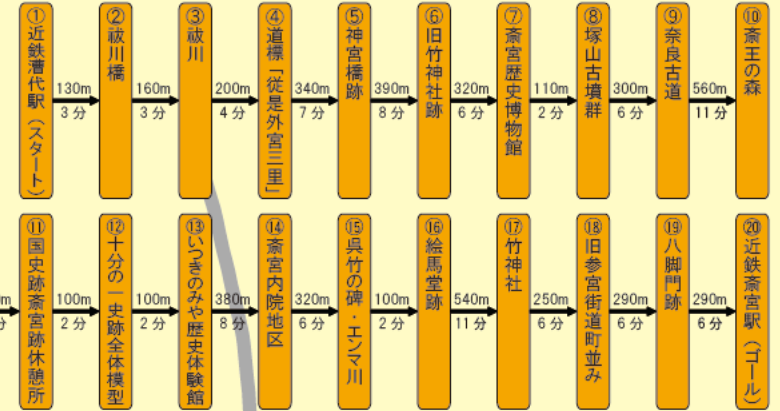
梅林（見頃：2月末～3月上旬）



コスモス（見頃：10月頃）



齋宮ウォーキングモデルコース（約5km・約1時間40分）



③ 祓川
 伊勢に群行してきた齋王は、齋宮に入る前に、この川で禊を行った。また、神宮のまつりに臨む時身を清めたところでもある。



④ 道標
 弘化4年（1847）に建てられた道標。南側に「従是外宮三里」、東側に「宮川江二里半（以下省略）」と刻まれている。



花園の碑
 齋王を慰めるため、四季の花を集め植えた跡とされ、『源氏物語』の竹河の段に「竹河の橋の詰なる花園に我をば放てめざしたぐえて」という歌にも登場。



⑨ 奈良古道
 古代の鈴鹿関から伊勢神宮を経て志摩国府に至る官道で、道幅は9mほどであった。現在は学界の道としてその一部が生きている。



⑫ 1/10史跡全体模型
 史跡全体を10分の1に縮小した野外模型。方格地割内に、一部齋王の御殿や役所の建物も復元。往時の規模を体感できる。



⑬ いつきのみや歴史体験館
 十二単の試着をはじめ、平安文化を中心とする様々な歴史体験ができる。



⑮ 八脚門跡
 齋宮の発掘調査で確認された唯一の門。その規模は神宮の外玉垣御門に匹敵するほどのもので、重要な施設があったものとみられている。



⑰ 竹神社
 明治44年に旧齋宮村にあった23社の神を合祀してできた神社。この場所は齋宮が廃絶されるまで機能していた中核部である。



⑭ 齋宮内院地区
 奈良時代後期に齋宮の大規模な整備が行われ、当地区は、齋王の御殿や主要な建物が配置された「内院」と呼ばれる重要な場所。



⑮ 呉竹の碑・エンマ川
 かつてこの付近には給馬堂や天香具山の竹を移し植えたという伝承がある竹藪があった。近くを流れるエンマ川は給馬川ともいわれ、齋宮東限の大溝と重複する。